

第15回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合

リコメンデーション(仮訳)

我々、ASEAN+3 各国の保健、社会福祉及び労働セクター、国際、地域の関係機関とパートナーからの参加者は、「未来を担う子どもたちの健全な育成」をテーマに 2017 年 10 月 31 日から 11 月 2 日まで福岡市で開催された第 15 回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合において、

本会合を 2003 年から毎年開催している日本政府の継続的なイニシアチブに感謝し、この第 15 回の会合が、子どもの健全な成長を促進するための保健、福祉及び労働セクターのステークホルダーの役割について、経験の共有及び意見交換を行う効果的なプラットフォームを提供していることを認識した。

前文：

保健、社会福祉、教育及び雇用分野における多セクター間の政治アプローチを通じた子どもの健全な育成の促進は、次世代に向けた持続可能で平等な社会の実現のための重要な基盤となることを再確認し、

母子保健、児童福祉、子育て、女性のエンパワメント、雇用及び教育を担う中央政府と地方自治体の関係するセクターが関与し、妊娠、出産から子育てまでの全てのステージにおける子どもの健全な成長を促進させる、強健で全国的な多セクター間の行動戦略もしくは枠組みの重要性を強調し、

包括的に子どもの健全な成長を促進するための、地域コミュニティ、医療福祉施設、学校、及び NGO やボランティアを含む民間セクターなど、全てのステークホルダー間における、コミュニティに根ざした多セクターの協力とパートナーシップの必要性を再確認し、

誰一人、特に貧困者や特別なニーズを持つ人々を取り残さず、母子保健を促進するための重要な要素として、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(SDGs)、特にユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の重要性を強調した。

我々、会合の参加者は、以下のリコメンデーション(勧告)について合意した。

1. 保健サービスの質とアウトカムの改善に貢献しうる、国及びコミュニティレベルにおける保健及び保育人材の能力開発を促進・強化する。
2. 安心・安全な出産の基盤整備を充実させるため、特に恵まれない人々や地域に焦点を当てつつ、乳幼児健診、栄養サポート、健康往診、教育、予防接種などの政策を強化する。
3. 人中心のアプローチをもって切れ目のない支援とケアの継続性を確保するために、母子健康手帳の活用などの手段を通じ、妊娠、出産から子育てまでの全てのステージに関わる保健医療福祉施設と人材の協力調整を強化する。
4. 貧困や虐待などのリスクがある子どもとその家族に対し、早期に必要な支援の提供するため、母子保健、児童福祉、教育分野のステークホルダー間でのコミュニティに根ざした協力とネットワークを強化する。
5. 子どもの健全な成長のため、子どもと親が近しく強靱な関係を構築できるよう、安心・安全な環境の整備を促進する。
6. 労働者のための安価で質の高い保育サービスを促進し、特に移民、マイノリティ、一人親家庭などの不利な立場にある子どもと家族のニーズに留意しつつ、ディーセント・ワークと労働者が安心・安全な環境での子育てを可能にする収入の継続を確保するために、地域コミュニティ、アカデミア、NGO 及び民間セクターと協力して政策を強化・導入する。
7. 子育て中、妊娠中の女性が社会で全ての実力を発揮できるよう、彼女たちの労働参加が全てのジェンダー平等の重要な要素であることを認識し、一方で妊娠・出産は女性の労働者とその家族にとって特に脆弱な期間であること、父親は子育てにおいて重要な役割を果たすことも認識しつつ、社会的、法的保護を含め、子育て中、妊娠中の女性を守り、エンパワメントする政策を促進する。
8. ASEAN+3加盟国、WHO、ILO、JICA、その他関係する国際機関、地域機関及びパートナーとの分野及び組織横断的な協力の推進によって、子どもと親に関する保健、社会福祉及び労働分野の知識、経験、好事例及び社会的イノベーションの共有を強化する。

更に、参加者は以下について同意した。

- (i) 各国において、第 13 回会合の議事内容及び結果を担当大臣や幹部に報告する。
- (ii) 日本は、ASEAN 事務局と協力し、本会合の議事内容及び結果を ASEAN+3保健大臣/高級事務レベル会合(AHMM+3/SOMHD+3)、ASEAN+3社会福祉開発大臣/高級事務レベル会合(AMMSWD+3/SOMSWD+3)、ASEAN+3労働大臣/高級事務レベル会合(ALMM+3/SLOM+3)に報告する。

(了)